



UNIVIEWによる インターネットの活用

オリハルコンテクノロジーズ 高幣 俊之

UNIVIEWのインターネット関連機能





地球や他の惑星の高精細な衛星画像 地形の凹凸などをネットから ストリーミング表示



複数のプラネタリウムがUNIVIEWを 通して相互プレゼンテーション

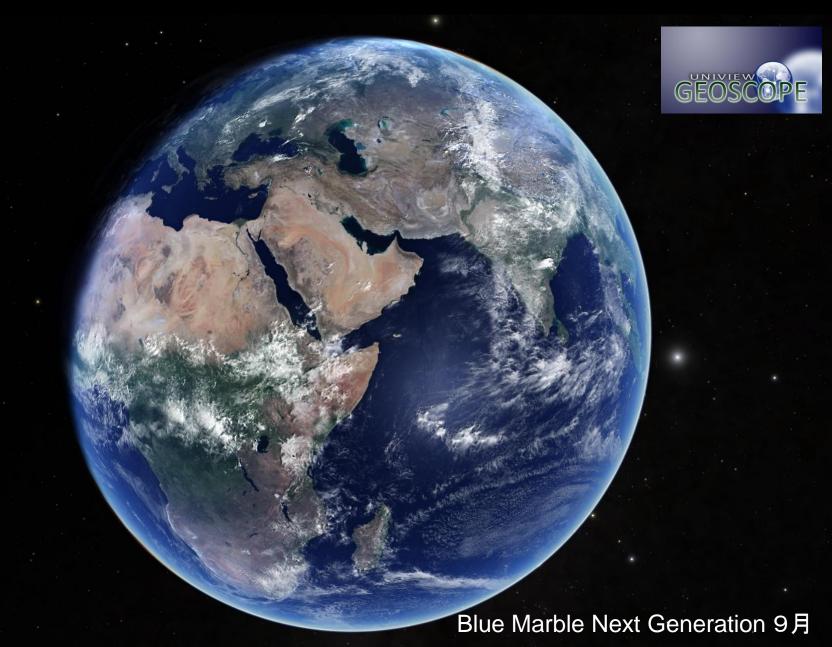


• 国際標準規格のWMS(Web Map Service)に対応



- NASAをはじめとする多彩なサーバにアクセス
- Google Map/Earthと同様の技術がベース
- 大気計算や星空の表現をシームレスに融合
- 膨大なデータから必要な部分だけを詳細に表示できる (地球の高解像度データを展開すると1Tを超える)
- 複数の表面画像を重ね合わせて活用できる
- 季節による冠雪の変化や地球環境、気象の変化など
- Messenger、LROなど最新のデータを直接扱える
- 普段上映や書き出しのために一括ダウンロードも可能

















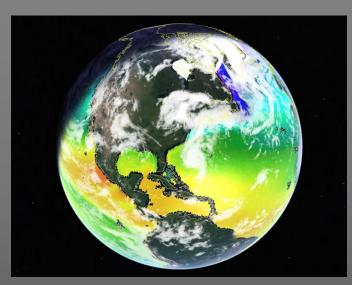












海面温度の分布(NOAA)



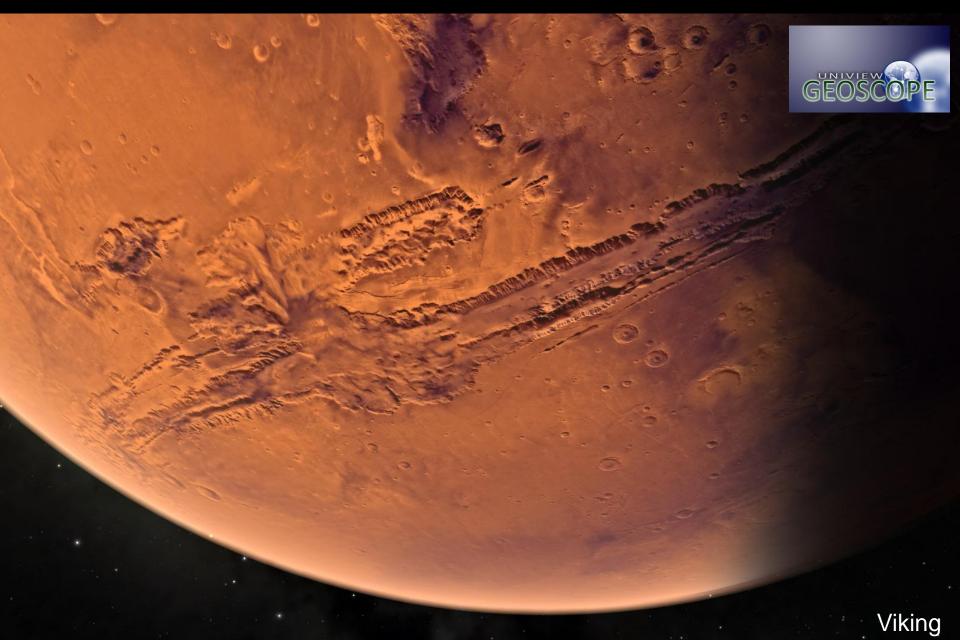
ヨーロッパの人口分布(NOAA/DSP)





カリブ海の珊瑚礁(BM/MODIS)







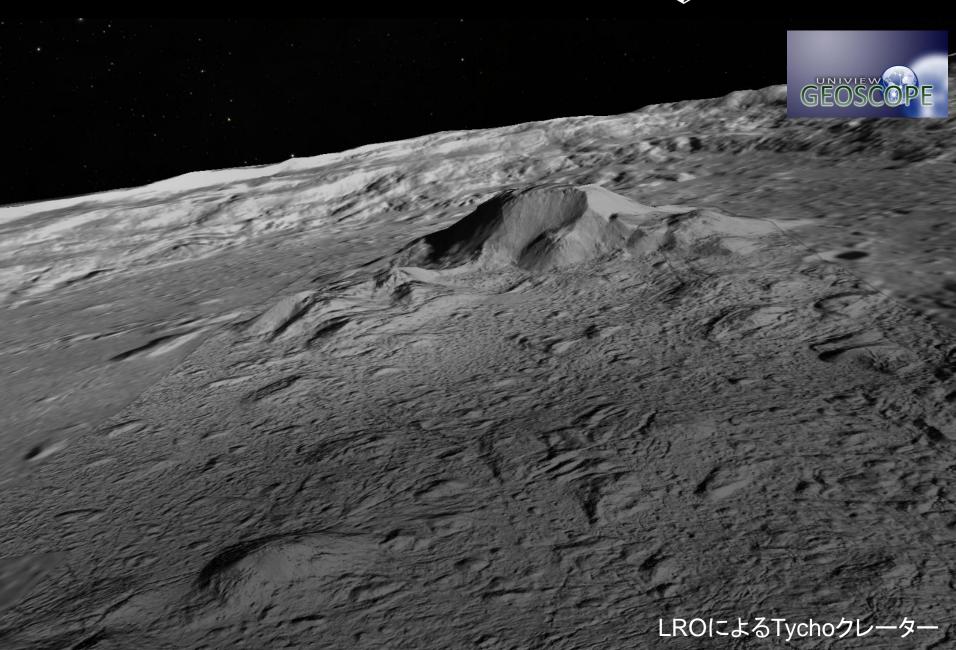


Lunar Reconnaissance Orbiter







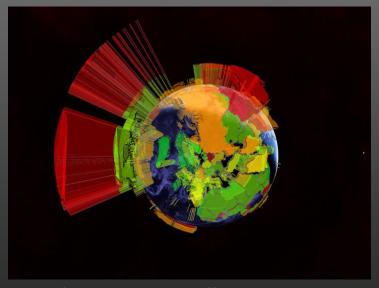




- GEÖSCOPE
- Google Earthと同じフォーマットで地表に 画像やムービー、3Dモデルなどを追記
- 統計データや古地図など、様々なデータがオンライン 上に公開されている



プレトテクトニクス(NOAA/NASA)



世界各国の石油消費量(IMF/CIA)







アイスランドの火山噴火

噴火後すぐに、噴煙の流れの様子がKML形式で公開される (まさにその現場で状況を確認していましたが...)

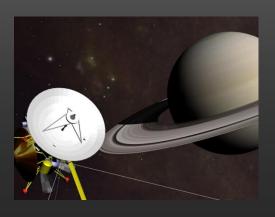
Octopus - 「Dome Cast」



• 複数のシアターでネットワーク越しに UNIVIEWが協調動作

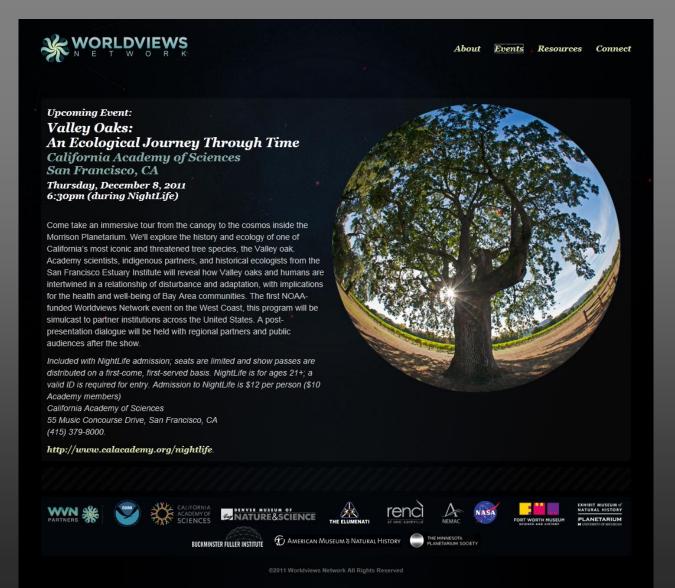


- 「操作者」を決めると、その人の操作が 他のシアターのUNIVIEWでも再現される
- 質問者が「操作」を交代して遠隔操縦もできる
- 全天周映像・音声・ビデオを使った遠隔プレゼン
- ドームでの講演を教室へ配信する例も
- 日米欧の4カ国通信の例も



Octopus - Worldviews Network







地球環境変化を 題材にした ドームキャストイベント

- -Denver自然史博物館
- ・NYアメリカ自然史博
- ・アメリカ海洋大気庁
- ・ストックホルム の4カ所中継

http://worldviews.net/

Octopus - 出張中でもリモート生解説







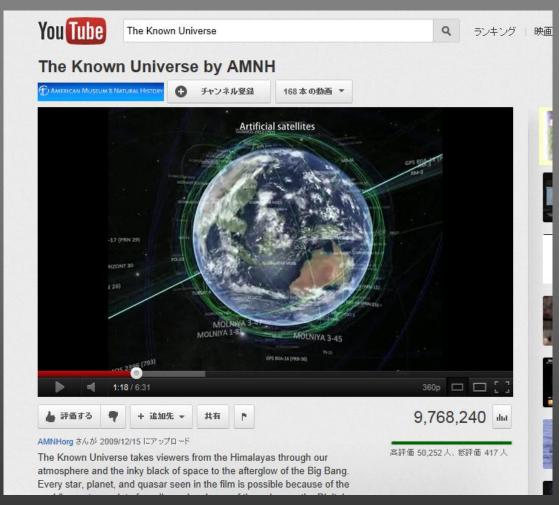


出張中のホテルの部屋からカリフォルニアの プラネタリウムを操作して生解説を行うRyan氏

他にも、UNIVIEWユーザー同士がOctopusで ノウハウの直接共有を頻繁に行っている

The Known Universe by AMNH





Univiewで制作された 地球~宇宙の果てまで 6分半のムービー

アメリカ自然史博物館から 2009/12/15公開 Director: Carter Emmart 公開後1週間で80万回、 現在は1000万回近く視聴

http://www.youtube.com/watch?v=17jymDn0W6U

「Live!オーロラ in 山梨県立科学館」



- プラネタリウムドームへのオーロラライブ中継
- 山梨県立科学館x有限会社遊造 Live!オーロラドリームキャラバン 2010/9/18~2011/4/4(全17回)



「Live!オーロラ in 山梨」のしくみ

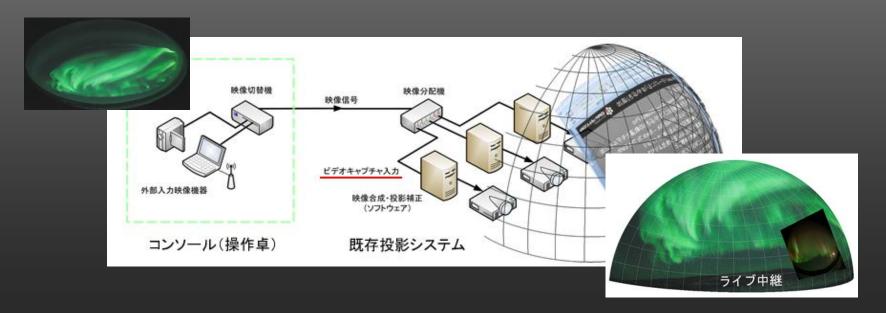


- プラネタリウムの上映システムをインターネットに 直接つなぐことは難しい!
 - 科学館のセキュリティポリシー
 - アンチウィルスソフトが動作パフォーマンスに影響
 - システムアップデートなど、何が起こるかわからない
- 投影システムをネットワークにつながずに ドーム映像中継を実現したい

「LIVE!Aurora in 山梨」のしくみ



- ストリーミング中継を、ネットワークにつないだ別の ノートPCで受信して全画面表示
- この映像をビデオキャプチャで投影システムに取り込み リアルタイムスライス投影
- 当時(2010年末)はQuadraturaを使い、全天中継と解説画像やアーカイブ映像を組み合わせたライブ上映



ビデオキャプチャ合成のメリット



- 館のシステムにネットをつなぐことなくWebを利用
- パワーポイントやライブカメラ映像など、様々な映像を 自由な位置・大きさ・数で合成
- 追加プロジェクターも黒浮きもなし
- 館のシステムに一切影響を与えず全天周試写が可能
- 応用例:ドームでのPPT、ウェブブラウザ、解説者の合成、字幕・テロップ、遠隔会議、講演者や手元実験の合成
- 詳しくはこちら:
 http://orihalcon.jp/documents/capture-compositor.html

ビデオキャプチャ合成のメリット



